

此岸から、彼岸まで

作成者・播磨宿

■ ○○シナリオ構成情報

構成情報収集

イベント	キャラクター	アイテム	場所
プロローグ	静山 あやね	三枚のお札	病室
奇妙な老人との遭遇	しずえ	紐で綴られた日記	玄関ホール
奇妙な老人との遭遇2	蜂屋 小六	日記の切れ端1	処置室
分かれ道	黄泉津醜女	日記の切れ端2	中庭
分かれ道～細い道～	餓鬼	日記の切れ端3	
分かれ道～広い道～		日記の切れ端4	
サナトリウム廃墟		走り書きされたメモ1	
サナトリウム廃墟～内部～		走り書きされたメモ2	
彼岸道中		蜂屋 源助の銅像	
彼岸道中～チュートリアル戦闘～		病食鬼(やまはみのおに)	
黄泉平坂での戦闘		早良親王	
目覚め		オニの記憶1	
出会い		オニの記憶2	
出会い2			
サナトリウム探索1			
サナトリウム探索～玄関ホール～			
サナトリウム探索～処置室～			
サナトリウム探索～中庭～			
サナトリウム探索～入り口(外)～			
夜の帳が降りる頃			
夜のサナトリウム探索			
夜のサナトリウム探索～病室～			
夜のサナトリウム探索～処置室～			
夜のサナトリウム探索～中庭～			
夜のサナトリウム探索～玄関ホール～			
夜のサナトリウム探索～入り口～			
夜のサナトリウム探索～逃避～			
オニの記憶			
黄昏時の目覚め			
あやねの搜索			
オニの記憶2			
懇願			
選択、その前に			
選択			
クライマックス(あやね編)			
クライマックス(トールー編)			
エンディング			
エンディング2			

★ イベント名称:

プロローグ

場所名称:

廃道

出現NPC:

なし

発生条件:

プロローグ

詳細情報:

探索者達は知り合いでもいいし、知り合いでなくてもよい。
ただし、目的は「廃墟として有名なサナトリウムへ観光に行く」というものである。

貴方達はバスまたは自家用車で最寄りまでやってきている。
サナトリウムへ続く道(10年ほど前に通行止めとなった)を進むうちにどうやら目的地が同じである
ということに気づき意気投合することになる。

★ イベント名称:

奇妙な老人との遭遇

場所名称:

廃道

出現NPC:

蜂屋 小六

発生条件:

探索者同士の自己紹介が終わり、廃道をサナトリウムへ向かう途中

詳細情報:

しばらく道を歩いていると、今にも壊れそうな椅子に腰掛けた老人と出会う。
老人は貴方達の姿を見ると、驚いた表情をするだろう。

彼は「蜂屋 小六」と名乗り、貴方達に何処へ行くのかと尋ねる。
貴方達は知識ロールに成功すると目的地に関する情報を思い出す。
老人は道中に気を付けるように良い、そのまま椅子に座って休憩し続けるだろう。
※連れて行く場合、強制的にサナトリウム到達に進む

★ イベント名称:

奇妙な老人との遭遇2

場所名称:

廃道

出現NPC:

蜂屋 小六

発生条件:

奇妙な老人との遭遇後

詳細情報:

小六は貴方達に3枚のお札を渡してくる。
この辺りには山姥が出るという伝承があるらしく、その為の御札だと言って笑いながら押し付けてくる。

貴方達は受け取ってもいいし、受け取らなくても良い。
【三枚のお札】

★ イベント名称:

分かれ道

場所名称:

廃道

出現NPC:

なし

発生条件:

探索者が小六と分かれてしばらくした頃

詳細情報:

探索者がしばらく廃道を進んでいくと、分かれ道に辿り着く。
片方は細い道、もう片方はそれなりに広い道となっている。
広い道の脇には何かの植物が枯れていることが分かる。
知識系判定に成功すれば、それが「彼岸花」であることに気付くだろう。

探索者が目星を行えば広い道には最近誰かが通ったような後が残っていることに気付くだろう。
貴方達はどちらの道を通ってサナトリウムへ向かうかを決めなければならない。

★ イベント名称:

分かれ道～細い道～

場所名称:

廃道

出現NPC:

なし

発生条件:

探索者が細い道を選択した場合

詳細情報:

貴方達は段々と細くなっていく道に不安を感じつつも先へと進んでいく。
しばらくすると川の流れるような音が聞こえてくる。

目星を行えば少し先は崖になっており、その10m下に川が流れていることに気がつくだろう。
しかし、先に道は見当たらない。引き返しても良いし、崖際に近付いても良い。
崖際に行った場合、がけ崩れが発生。探索者達は崖下へと滑落し、1d4のダメージを受けて気を失う。

気を失う直前、貴方達は見窄らしい格好に身を包み、般若の面を付けた女性を幻視する。

★ イベント名称:

分かれ道～広い道～

場所名称:

廃道

出現NPC:

なし

発生条件:

探索者が広い道を選択した場合

詳細情報:

貴方達は広い道を進んでいく。
道中は不思議と整備されており、特に不都合なくサナトリウムへと到着する。

★ イベント名称:

サナトリウム廃墟

場所名称:

サナトリウム

出現NPC:

なし

発生条件:

探索者が広い道を通るか、小六と共に行動した場合

詳細情報:

貴方達の目の前に荒れ果てたサイリウムが姿を見せる。
 外壁はひび割れ、蔦で覆われている。入り口の扉はやや崩れかけているが何とか入って行くことができそうだ。
 ※ここで引き返した場合、強制的に細い道へと迷い込むこととなる

★ イベント名称:

サナトリウム廃墟～内部～

場所名称:

サナトリウム

出現NPC:

しずえ

発生条件:

サナトリウム廃墟の内部へと侵入した場合

詳細情報:

サナトリウム内部に入るとホールであった。
 所々崩れた外壁や窓から午後の日差しが差し込み、退廃的な雰囲気を感じさせる。

ホールの受付を調べると、そこに一冊の日記が置いてあることに気付く。
 【紐で綴られた日記】

読み終わる、またはホールから出ようとする天井が崩落し、探索者達の意識は途絶える。
 気を失う直前、貴方達は見窄らしい格好に身を包み、般若の面を付けた女性を幻視する。

★ イベント名称:

彼岸道中

場所名称:

黄泉平坂への道

出現NPC:

発生条件:

崖下、またはサナトリウム内部で意識を失った後

詳細情報:

貴方達は暗い道を進んでいる。
 進んでいるというより、降りていくといった方が正しいのだろうか。
 一体どれ程の時間歩いたのだろうか、既に時間の感覚はない。

このまま降りて良いのだろうか、戻るべきではないか。
 そう思い、貴方達は後ろを振り返る。

そこには『黄泉津醜女』の姿があった。【黄泉津醜女のSANチェック】

★ イベント名称:

彼岸道中～チュートリアル戦闘～

場所名称:

黄泉平坂への道

出現NPC:

発生条件:

彼岸道中で黄泉津醜女と遭遇した後

詳細情報:

チュートリアル戦闘。
 貴方達は黄泉津醜女と遭遇する。黄泉津醜女の攻撃はHPではなく、MPを削り取ってゆく。
 攻撃を食らう度に身体の芯が冷え、身体の熱が奪われていくような感覚を覚える。

やがて黄泉津醜女の背後より下腹が異常に膨れた子供『餓鬼』がワラワラと登場する。
 黄泉津醜女の横をすり抜け、それらは探索者達へと襲いかかる。

その瞬間、貴方達の目の前に「オニ」が現れる。

★ イベント名称:

黄泉平坂での戦闘

場所名称:

黄泉平坂への道

出現NPC:

発生条件:

オニ=しずえが現れた後

詳細情報:

オニは餓鬼の群れをその鋭い爪で引き裂いていく。
しかし、餓鬼は無数に現れてはオニに襲いかかってゆく。

餓鬼の群れの向こう側では、黄泉津醜女がニタリ、ニタリと笑みを浮かべている――

そこで貴方達の意識は暗転したのだった。

★ イベント名称:

目覚め

場所名称:

サナトリウム 夢幻

出現NPC:

なし

発生条件:

黄泉平坂での戦闘後

詳細情報:

貴方達は病室のベッドで目を覚ます。
そこは一見して病院のようだったが、中に置いてある物品はどれも古く、もしかすると写真などでしか見たことがないようなものばかりだ。

【病室】

机の傍には日記の切れ端が置かれている。

【日記の切れ端1】

★ イベント名称:

出会い

場所名称:

サナトリウム 夢幻

出現NPC:

静山 あやね

発生条件:

探索者達が病室からそれぞれ出てきた時

詳細情報:

貴方達が病室から廊下へ出てみると、少し離れた場所に少女の姿が見える。
少女は貴方達に気がつくと、少し驚いた顔をしてから笑みを浮かべて近付いてくる。

少女は貴方達に声をかける。少女の口からは、少女自身と、この場所に関する情報を聞き出すことができるだろう。

しばらくすると少女は貴方達をとある病室へと誘う。

★ イベント名称:

出会い2

場所名称:

サナトリウム 夢幻

出現NPC:

静山 あやね
しずえ

発生条件:

探索者達があやねに連れられてしずえの病室へ連れて行かれた時
自分たちの意思で病室に入ったとき

詳細情報:

病室に入るとベッドの上に眼帯を巻いた少女が身を起こしている。
彼女は貴方達に気がつくと、ペコリと会釈をしてくる。

その場にあやねが居れば少女のことを「しずえ」と紹介してくれるだろう。

しずえは貴方達との会話の中で自身が重い病であることを教えてくれる。探索者達に身の上や、その他の情報を尋ねられても曖昧に微笑んだまま回答しない。

★ イベント名称:

サナトリウム探索1

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

静山 あやね

発生条件:

あやね、しずえとの会話が終わった後

詳細情報:

貴方達はあやねからサナトリウムを見て回らないと言われる。
承諾して共に移動しても良いし、断って自分たちだけで行動しても良いだろう。

探索は以下の場所を行える。

【玄関ホール】【処置室】【中庭】【サナトリウム入り口】

★ イベント名称:

サナトリウム探索～玄関ホール～

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

なし

発生条件:

サナトリウム探索1中

詳細情報:

ホール内部は真新しく、多くの光を取り込むような構造となっている。

真新しい受付カウンターの向こう側にメモの切れ端が落ちている。

【走り書きされたメモ1】

★ イベント名称:

サナトリウム探索～処置室～

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

なし

発生条件:

サナトリウム探索1中

詳細情報:

処置室に足を踏み入れるとツンと薬品の匂いが鼻をつく。
処置室にはいくつかの薬品と、アルコールランプ、メスや鉗子といった器具類が戸棚に仕舞われている。

机の引き出しを開けると日記の切れ端が入っている。
【日記の切れ端2】

★ イベント名称:

サナトリウム探索～中庭～

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

なし

発生条件:

サナトリウム探索1中

詳細情報:

中庭には暖かな春の日差しが差し込んでいる。
中庭の中央には銅像があり、どうやら初代所長の像のようだ。
【蜂屋 源助の銅像】

銅像の下にはメモが落ちている。
【走り書きされたメモ2】

★ イベント名称:

サナトリウム探索～入り口(外)～

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

なし

発生条件:

サナトリウム探索1中

詳細情報:

玄関の扉を開けて外に出た貴方達は森へと続く一本の道を発見する。

しかし、その道の先は森の木々の影のせいか、非常に薄暗くなっている。
もし入ってみた場合、貴方達は下へ、下へと降りていくような感覚に襲われるだろう。

進み続けた場合、やがて辺りは闇に包まれる。そして、その闇から無数の息遣いが聞こえ始める。
既に入り口は消え、貴方達は闇から現れた無数の手によって肉を引き千切れー闇に消えた。
【BAD END】

★ イベント名称:

夜の帳が降りる頃

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

餓鬼

発生条件:

サナトリウム探索1終了後

詳細情報:

貴方達が探索を終えた時、唐突に辺りは闇に包まれる。
空には紅い月が登り、サナトリウム内には電灯の灯りが点灯する。

そして、直ぐ側の窓から「ドン……ドン……」と何かを叩く音がする。

確認する、または時間経過で餓鬼が1d4体侵入してくる。
撃退、または逃走で状況終了。

★ イベント名称:

夜のサナトリウム探索

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

餓鬼

発生条件:

夜の帳が降りる頃後

詳細情報:

貴方達は夜のサナトリウムに取り残された。
時折明滅する電灯の灯りが辛うじて貴方達の正気を保証してくれている。

さあ、どうする？

【病室】【処置室】【玄関ホール】【中庭】【入口】

★ イベント名称:

夜のサナトリウム探索～病室～

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

なし

発生条件:

夜のサナトリウム探索中

詳細情報:

病室の何処を見て回っても静山 あやねの姿はない。
また、しずえの姿もまたない。

代わりにベッドの上に日記の切れ端だけが落ちている。

【日記の切れ端3】

★ イベント名称:

夜のサナトリウム探索～処置室～

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

静山 あやね

発生条件:

夜のサナトリウム探索中

詳細情報:

処置室の中からは「うう……」という押し殺したような呻き声が聞こえてくる。
 中の様子を確認すると、あやねが処置ベッドの向こう側に蹲っている。

あやねに近付くと、蹲るあやねの傍には注射器が落ちている。
 貴方達に気付いたあやねの姿は恐ろしいものだった。
 髪は抜け、眼窩は窪み、荒い呼吸音を繰り返している。

その姿を見られたあやねは、貴方達を突き飛ばすと廊下の闇の中へ消えていった。

★ イベント名称:

夜のサナトリウム探索～中庭～

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

餓鬼

発生条件:

夜のサナトリウム探索中

詳細情報:

中庭へ出ようとする、外から荒い息遣いが聞こえてくる。
 外の様子を伺えば、中庭を所狭しと埋め尽くす程の餓鬼の群れを目にすることだろう。
 迂闊にも外の様子を確認してしまった貴方達は【1/1d4のSANチェック】

★ イベント名称:

夜のサナトリウム探索～玄関ホール～

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

なし

発生条件:

夜のサナトリウム探索中

詳細情報:

玄関ホールは荒れ果てており、まるで廃墟のような有様となっていた。
灯りは消え、階段は崩れ落ちている。

受付カウンターの辺りを調べると、日記の切れ端が落ちている。
【日記の切れ端4】

玄関の外からは何かが争う音が聞こえている。

★ イベント名称:

夜のサナトリウム探索～入り口～

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

しずえ

発生条件:

夜のサナトリウム探索中

詳細情報:

玄関を開けると、そこは赤と黒が支配する世界であった。
辺り一面に、赤い花が咲いている。花に詳しくなくとも、その花が何であるかは分かるだろう。

――そう、彼岸花だ

その紅い花畑の上で踊るように餓鬼の群れを相手にする者が居た。
そいつはまるで包帯の様なポロ布を身にまとい、餓鬼を爪で引き裂いてゆく。
【オニの記憶へ】

★ イベント名称:

夜のサナトリウム探索～逃避～

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

なし

発生条件:

夜のサナトリウム探索中、探索者が部屋に立て籠る等の消極的行動、または行動に戸惑った場合

詳細情報:

あやねと出会っていない・様子に気付いていない場合
→あやねが病室へと案内し一夜を明かす【オニの記憶へ】

あやねと出会っている場合
→屋に見たような健常者の姿になったあやねが病室へと案内する
→従う: 病室で一夜を明かす【オニの記憶へ】
→従わない: 黄泉津醜女に遭遇する、貴方達は逃げられない。
生気を全て吸い取られ餓鬼の姿へと身を墮とすのだった。【BADEND】

★ イベント名称:

オニの記憶

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

しずえ

発生条件:

オニの記憶ラベルへ飛んだ場合

詳細情報:

色褪せた風景が広がっている。粗末な小屋には沢山の人が横たわり、呻き声を上げている。
人々の肌には白色の豆粒状の発疹が広がり、知識があれば天然痘だと分かる。
呻き声を上げる者の中には「早良親王の祟りだ……」と言う者も居た。

オニはその人々へ近付いてゆく。
オニに触れられた人は安らかに目を閉じ、幸せそうな顔をして息を引き取っていった。
そんな人々を見下ろすオニの目からは、静かに透明な雫が零れ落ちていた。
【オニの記憶1】

★ イベント名称:

黄昏時の目覚め

場所名称:

サナトリウム 夢幻

出現NPC:

しずえ

発生条件:

オニの記憶後

詳細情報:

目を覚ますと、窓から夕日のような茜色が差し込んでいた。
そこには光に照らされたしずえの姿があった。

彼女とオニを結びつけるような発言が探索者からある場合は【病食鬼】を語る。

彼女は貴方達に「あやね」を連れて二階の階段を登り続けるように懇願する。

★ イベント名称:

あやねの搜索

場所名称:

サナトリウム 夢幻

出現NPC:

しずえ
静山 あやね

発生条件:

黄昏時の目覚め後

詳細情報:

貴方達はサナトリウム内を周り、あやねの姿を探す。
あやねは【中庭】にある枯れた木の下で静かに泣いている。

その手には般若の面があった。
あやねは、オニの記憶を自分も観た事を告げ、
自らもまたオニ(しずえ)に救われた身であったことを思い出していた。

その際、あやねは般若の面をそっと探索者達に差し出す。

★ イベント名称:

オニの記憶2

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

しずえ

発生条件:

般若の面を受け取った場合

詳細情報:

オニの目の前で早良親王が数人の男に押さえつけられていた。
親王は無実を訴えるが、男たちは聞き入れる事なく縄で縛り上げてゆく。
そしてオニもまた、捕らえられる――

その様子を(以前は美人だったであろう)、醜女の女がニタニタとした表情で見下ろしている。
やがオニと親王は別々に連れ去られ、オニは醜女によって静山へ封ぜられた。
【オニの記憶2】

★ イベント名称:

懇願

場所名称:

サナトリウム夢幻

出現NPC:

しずえ
静山 あやね

発生条件:

オニの記憶2後

詳細情報:

オニの記憶を垣間見た貴方達は、知識ロールに成功すれば【早良親王】を得る。
そんな貴方達に、再びしずえが語りかける。

どうか、あやねを還してやってください。此岸にてあやねは生きております。
此岸と彼岸の狭間、この黄泉比良坂に本来居てはならぬお人でございます。
あやねと同じく此岸にて生きる貴方方に重ね重ねお願い申し上げます。
どうか、あやねを此岸へと連れ還してやってください。
還る道は私がお護り致します、どうか、どうか……

★ イベント名称:

選択、その前に

場所名称:

サナトリウム 夢幻

出現NPC:

しずえ
静山 あやね

発生条件:

懇願後

詳細情報:

あやねによると、夜にならねば道は開かないとのこと。
それまでの間は自由に過ごしても構わないと言う。

『あやねが探索者達にしずえも連れて還りたいと告げる』
『しずえの耳に入れば黄泉津醜女を誰かが抑えねばならぬと告げる』

★ イベント名称:

選択

場所名称:

サナトリウム 夢幻

出現NPC:

しずえ
静山 あやね

発生条件:

選択、その前に後

詳細情報:

- ・あやねと還る
→【クライマックス(あやね編)】へ
- ・あやね、しずえと還る
→【クライマックス(トゥルー編)】へ
- ・その他
→頑張れ。

★ イベント名称:

クライマックス(あやね編)

場所名称:

黄泉比良坂

出現NPC:

静山 あやね

発生条件:

・あやねと還るを選択

詳細情報:

再生能力を失った黄泉津醜女との戦闘。
餓鬼は1d6体控えている。

此岸と彼岸の狭間なので、HPは耐久とMPの高い方で選択して良い。
また、黄泉津醜女を倒した後に【三枚のお札、大の川の御札】を使用することで消滅させることができる。
※させなくとも構わない

★ イベント名称:

クライマックス(トウルー編)

場所名称:

黄泉比良坂

出現NPC:

しずえ
静山 あやね

発生条件:

・あやね、しずえと還る

詳細情報:

黄泉津醜女との戦闘。
餓鬼は1d10体控えている。

黄泉津醜女を倒した後に【三枚のお札、大の川の御札】を使用することで消滅させることができる。
※消滅させなければ再び黄泉還りあやね・しずえを連れ去る(しずえに復活すると言わせる)

餓鬼共は【三枚の御札 火の海の御札】で焼き尽くすことができる。
※黄泉津醜女には効果がない

★ イベント名称:

エンディング

場所名称:

静山病院

出現NPC:

???

発生条件:

此岸に還る

詳細情報:

貴方達は病室のベッドで目を覚ます。
そこは一見して病院のようだった……いや、ちゃんとした病院で間違いない。

貴方達の元に白衣を来た「蜂屋 小六」が駆け込んでくる。
貴方達の無事を確認した小六はホッと安堵したようだ。
そんな彼のPHSに電話がかかってくる。

★ イベント名称:

エンディング2

詳細情報:

電話

彼は急いで彼女の病室へと向かう。

貴方達は付いて行っても構わない。行かなくても向こうから呼ばれる。

特別病室では男泣きをしている小六と、それを優しくあやす老婆の姿があった。
老婆は貴方達をひと目見ると目を見開き、そして感謝の言葉を述べてくる。

事情を知らぬ小六は目を白黒させるが、老婆(あやね)が簡単に説明する。
不思議な事もあるもんだと無理矢理納得する小六。

====TRUE====

やがて小六と貴方達は病室の隅に「こんもりと盛り上がったシーツの山」があることに気付く。
貴方達に視線を向けられると、シーツの山はピクリと揺れる。

中からは「しずえ」が出てくる。姿は「眼帯姿」の方だ。
若い頃の「あやね」そっくりな相貌に仰天する小六だったが、
あやねからの説明を受けしずえに感謝の言葉を送る。

しずえはそのまま、あやねと小六(独身だった!)の養子として引き取られる事になる。

★ 名前:

静山 あやね

探索者との関係:

なし

バックグラウンド:

静山地区の名士である静山家の一人娘。幼い頃から身体が弱く、15歳の頃に癌を患う。完治は難しく、せめて安らかに過ごせるようにとサナトリウムへ入所する。

シナリオとの関係:

シナリオ時点で65歳。静山病院の特別病室で一人眠り続けている。夢の中で探索者達と出会い、終わらぬ夢に終止符を打つこととなる。

ステータス:

STR	10	CON	7	SIZ	14	INT	15
POW	7	DEX	10	APP	16	EDU	16
アイディア	75	幸運	35	知識	80		
耐久力	11	正気度	35	MP	7		
ダメージボーナス			0				

技能:

目星	50	聞き耳	70	回避	20	医学	40
薬学	50						

★ 名前:

しずえ

探索者との関係:

なし

バックグラウンド:

平安時代に都で生まれたオニ。病に倒れた人を夢に誘い、その精神を食いつくす性質を持つ。

シナリオとの関係:

事故に逢い意識不明となった探索者達を夢の世界へと誘う。あやねに天皇の面影を重ねており、探索者達もできるなら現世へと還したいと考えている。

ステータス:

STR	22	CON	18	SIZ	12	INT	10
POW	14	DEX	16	APP	16	EDU	11
アイディア	50	幸運	70	知識	55		
耐久力	15	正気度	70	MP	14		
ダメージボーナス			+1D6				

技能:

目星	60	聞き耳	25	回避	32		
SAN減少	1/1d6						
圧切	30	1d8+db		爪撃	60	2d4+db	

★ 名前:

蜂屋 小六

探索者との関係:

なし

バックグラウンド:

静山地区出身で、静山病院の院長を勤めている。
過去に癌を患った幼馴染の為にサナトリウムへ通い続けた過去がある。

シナリオとの関係:

事故に逢い、意識不明となった探索者達を発見。静山病院へと連れ帰り手当を行う。
意識の戻らぬ探索者達の様子に、あやねの面影を重ねている。

ステータス:

STR	4	CON	4	SIZ	11	INT	9
POW	3	DEX	14	APP	13	EDU	11
アイディア	45	幸運	15	知識	55		
耐久力	8	正気度	15	MP	3		
ダメージボーナス			-1D4				

技能:

目星	0	聞き耳	0	回避	28		

★ 名前:

黄泉津醜女

探索者との関係:

探索者の魂を黄泉へと引きずり込もうとする敵

バックグラウンド:

クトーニアンにより化物の姿へと変えられた平安時代の人間。
その正体は早良親王の後の成れの果てである。

シナリオとの関係:

しずえを一方的に恨み、しずえに関わる生者の魂を黄泉へと引きずり込もうとする化物。
探索者もまた、彼女の標的となっている。

ステータス:

STR	31	CON	27	SIZ	10	INT	15
POW	10	DEX	8	APP	5	EDU	3
アイディア	75	幸運	50	知識	15		
耐久力	19	正気度	50	MP	10		
ダメージボーナス			+2D6				

技能:

SAN減少	1d3/1d10						
接触	35	1d6 + db		精神支配	48	POW対抗	POW-1
装甲	頭部を破壊されない限り、毎ターン5回復						

★ アイテム名称:

三枚のお札

説明:

1枚目「身代わりの御札」(名前を唱えて投げると身代わりになります)

2枚目「大の川の御札」(大量の水が襲いかかる)

3枚目「火の海の御札」(火の海が飛び出す)

★ アイテム名称:

紐で綴られた日記

説明:

◆三月四日

今日も小六が見舞いに来た。小六には大丈夫と言ったが、帰った途端に意識が途切れた。酷い痛みで目が覚めた頃には既に消灯の時間であった。徐々に痛みが増し、身体が自由に動かなくなる。最早残された時間は僅かなのだろう。

そういえば、最近夢を見る。悲しそうな顔をした女性の夢だ。眠る度に、近付いて来ているような気がする。

★ アイテム名称:

日記の切れ端1

説明:

◆十月十二日

お医者様の勧めで空気の綺麗な静山のサナトリウムへと移ることとなった。私の身体はあまり良くないらしく、お父様や、お母様が部屋の外で泣いているのが聞こえてきた。

少しでも早く、私の身体が治ればいいのに。

★ アイテム名称:

日記の切れ端2

説明:

◆十一月二十日

段々と寒くなってきた。体調を崩す事も多くなり、薬を飲むのが辛い。小六が毎日見舞いに来てくれるが、このように弱った私を見せたくはない。

しかし、小六が来てくれなければ私は病室で一人枕を涙に濡らすだろう。早く良くなりたい。

★ アイテム名称:

日記の切れ端3

説明:

◆一月二十日
 (字が歪んでいて少ししか読むことができない)
 お願いします、どなたでも構いません、私の身体を治してください。
 痛い、痛い、痛い。
 髪がどんどん抜けていきます。
 吐いても吐いても収まりません。
 誰か、助けてください。

★ アイテム名称:

日記の切れ端4

説明:

◆三月二十日
 ねむい。ねているとき、とてもきぶんがいいです。
 ともちができました。とてもいいこです。
 かのじよと ずっと いっしょにー

★ アイテム名称:

走り書きされたメモ1

説明:

2012/03/19
 静山サナトリウム、1989年に閉鎖
 →建物は管理者もおらず廃墟
 →廃墟？新しく見える
 →けいたい 日付 2012年 内装 昭和？

★ アイテム名称:

走り書きされたメモ2

説明:

夜は出歩いてはいけない
 → ああ、窓に！窓に！

★ アイテム名称:

蜂屋 源助の銅像

説明:

1920年に静山療養所を開院。
結核患者の治療・療養の為に私財を投げ打って施設を建てた。

結核患者の減少に伴い、1960年に静山療養所を癌患者専用の療養施設にするなど、
地域や時代の背景に合わせて当施設を運営してきた名士。

1965年、65歳で他界。

★ アイテム名称:

病食鬼(やまはみのおに)

説明:

かつて静山に一匹のオニが居た。
オニは病に罹った者の前に現れては病を食って回った。
食われた者は、それまでの苦しそうな表情から一転して幸せそうな表情になったという。

その噂を聞きつけ早良親王はオニを捕らえ自らの屋敷へと連れ込んだ。
そして都に蔓延していた白い斑点が体中に浮かぶ流行病の患者の食わせて回った。
やがて流行り病は鳴りを潜め、親王はオニを静山の民に祀らせたという。

★ アイテム名称:

早良親王

説明:

平安時代の親王。
藤原種継暗殺事件に連座して廃され、乙訓寺に幽閉される。
無罪を訴えるために断食し、淡路国に配流される途中に憤死。
死後、天然痘の流行が起こった際には早良親王の祟りだと言われた。

公の記録には后やそれに類する女性は存在しなかったとされる。

★ アイテム名称:

オニの記憶1

説明:

色褪せた風景が広がっている。粗末な小屋には沢山の人が横たわり、呻き声を上げて
いる。

人々の肌には白色の豆粒状の発疹が広がり、知識があれば天然痘だと分かる。
呻き声を上げる者の中には「早良親王の祟りだ……」と言う者も居た。

オニはその人々へ近付いてゆく。
オニに触れられた人は安らかに目を閉じ、幸せそうな顔をして息を引き取っていった。
そんな人々を見下ろすオニの目からは、静かに透明な雫が零れ落ちていた。

★ アイテム名称:

オニの記憶2

説明:

オニの目の前で早良親王が数人の男に押さえつけられていた。
親王は無実を訴えるが、男たちは聞き入れる事なく縄で縛り上げてゆく。
そしてオニもまた、捕らえられる――

その様子を(以前は美人だったであろう)、醜女の女がニタニタとした表情で見下ろしている。
やがオニと親王は別々に連れ去られ、オニは醜女によって静山へ封ぜられた。

★ 場所名称:

病室

説明:

サナトリウムの病室の一室。
木のベッドや、ラジオ、柱時計などが目に入る。
窓からは柔らかい日差しが差し込み、少し冷たいが気持ちのいい風が窓から吹き込んでくる。

内装は探索者の感覚からすると、やや古臭い印象を受ける。

★ 場所名称:

玄関ホール

説明:

サナトリウムの玄関ホール。
内装はとても美しく、見るものの心を昂ぶらせる。
2階へと続く階段が見えるが、立入禁止の立て札が置いてある。

玄関の近くには受付カウンターがあり、このサナトリウムの地図らしきものが貼られている。

★ 場所名称:

処置室

説明:

サナトリウムの処置室。
薬品類や器具類が入った棚と、机、そしてベッドが設置されている。

★ 場所名称:

中庭

説明:

サナトリウムの中庭。
大きな木と、謎の銅像が一つずつある。
日当たりは良さそうだ。